

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～30 台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網---月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の27%（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり3kgの水揚げで、前週の30%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり29kgの水揚げで、前週の3%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり19kgの水揚げで、前週の46%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり145kgの水揚げで、前週の8%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり33kgの水揚げで、前週の66%（前年を上回った）。
- 定置網----対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり74kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり481kgの水揚げ。
- 一本釣----北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり20kgの水揚げで、前週の74%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/13～7/19の7日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、能登半島沖より三沢沖に移動。赤イカは北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、5日延27隻、総計2,375箱、1航海最高292箱、平均88箱。スルメイカ(20～40入・バラ)731箱、ケンサキイカ(2～4立)1,644箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第6-11号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道（対馬南東）の観測結果」
「第6-12号 6県ケンサキイカ情報（令和6年度 第2号）」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>